

議題チーム・概要

議題チーム No. 【 3 】

チーム名		人をつなぐ福祉のコミュニティづくり		チーム人数：8人
チームメンバー		チーム参加動機	こうしていきたい/ こんなことができる etc.	あなたを表す要素/所属/職業/ キャッチフレーズ etc.
1	高瀬博幸			
2	西 博三	前回入った議題と共通しているグループであった。		お年寄り暮らしの相談所主宰
3	山地敏明	現在の環境に同じ		
4	深田雄志	病気になって幸せにいきつづけることができるコミュニティを実現したい！		総合患者支援団体コンサルタント 大学院生、下鴨
5	長澤哲也	福祉のコミュニティづくりから社会を良くしていきたい。		福祉、環境のソーシャルワーカー
6	大西佳子	自治会の見直しが全ての悩みにつながり、発展していく。		
7	中前紀子	京都をよくするためには、まず小さなコミュニティ作り。		
8	原 依子			

メインテーマ	人をつなぐ福祉のコミュニティづくり	リーダー：長澤哲也
サブテーマ		サブリーダー：西 博三

事務局との連絡役： 長澤哲也

チームの連絡体制 ルールなど	基本メールと FAX
-------------------	------------

その他	<p style="text-align: center;">【チームコンセプト】</p> <p>私たちが考える『人をつなぐ福祉のコミュニティ』とは、福祉を特定の人のものであるのではなくその地域で暮らすみんなのものであると考え、暮らす人々が、それぞれの人生を実現していくために、いのちが守り育てられ、生活と心の豊かさが得られる、人のつながりが豊かなコミュニティです。</p> <p>そのコミュニティは、町内や自治会、学区といった地域でのつながりや、共通のテーマや目標を持った人たちのつながりによるものなど、人の集まりを楽しみながら活動し、共に生活を豊かにしていくものです。</p>
-----	---

議題概要

議題チーム No. 【3】：人をつなぐ福祉のコミュニティづくり

<p>1)背景や問題の把握 現状に潜む 様々な問題の発掘</p> <p>【背景／現状認識、 現状の問題点】</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域の住民相互のつながりが希薄になり、地域で生活課題を抱えている人が孤立したり排除されたりしていないか。 2. 自治会や町内会への参加が減少し、地域住民自治能力が低下していないか。 3. 行政による支援制度につながるできない人、制度の狭間にあって困っている人が地域に埋もれていないか。 4. NPO やボランティア組織と自治会・町内会の交流がもっと進めば地域が活性化するのはではないか。 5. 地域の課題が埋もれてしまっていないか。 6. 住民の地域への愛着が低下し、環境が悪くなっていないか。 7. シニア・シルバー世代が地域に戻ってくる時代にマッチしたコミュニティ形成が必要ではないか。
<p>目的／動機／ 何の為に？</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 広い意味での福祉が実現した京都にしていくために、コミュニティを再生する。 2. そのコミュニティ再生は人のつながりから始まる。
<p>2)最終目標</p> <p>9月時点の ゴール像・到達点</p>	<p>福祉の実現した京都</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学区や町内会単位でできる具体的なコミュニティづくり活動の提案（複数） 2. コミュニティづくりを京都市が支援する事業の提案（複数） 3. 100人委員メンバーの役割提案 4. 10月以降の活動目標づくり
<p>3)解決すべき課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人をつなぐしくみ、人がつながるための方策を考える 2. 具体的な活動としてのアイデア出し、事例の調査 3. 活動を支援する行政のしくみ制度のアイデア出し、事例の調査 4. 目指すコミュニティの機能や役割の整理
<p>4)解決策 課題を解決する為の 方策やアイデア</p>	<p><人をつなぐしくみ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 居場所、井戸端空間の創出 ・ 誰でも（年齢を問わず）相談できる場所→駆け込み相談室 ・ 地域の子供達や高齢者、現在の生活者と話し合う場 ・ 町内オープンミーティング（地域の課題をみんなで見つける） ・ 自治会、町内会と NPO・ボランティアとの協働 ・ 趣味や生きがい学習、まちづくり活動など多様なサークル活動の育成 ・ 地域学習と語り部養成を目指した熟年・高齢者カレッジの創設 ・ 孤立している人との交流（交流ボランティア） <p><福祉のコミュニティの機能や役割></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域之力、参加と支え合い、地域に学ぶ ・ 安心、安全なまちづくり（警察力だけが防犯ではない） ・ 高齢者が生活の母体として暮らす場所 ・ シニア、高齢者が活躍でき、生きがいをもてる場所 ・ 行政だけでできないことをする、行政への提案、要求もできる ・ 暮らし、働き、学び、憩うことができる ・ 同じ目的を共有できる、認め合える、表現し合える ・ つながっていてはばられない ・ 競争社会、市場原理社会だけではない地域社会
<p>5)行動計画</p> <p>4月～9月</p> <p>その後</p>	